



NEWS

Fukuoka Foreign
Trade Association

福岡貿易会 会員広報誌

発行・編集／社団法人 福岡貿易会
〒812-8505福岡市博多区博多駅前2-9-28
福岡商工会議所ビル7階
TEL.092-452-0707 FAX.092-452-0700
E-mail: info@fukuoka-fta.or.jp

vol.8

新年明けましておめでとうございます。



年 頭 ご 挨拶

社団法人 福岡貿易会
会 長 並田 正一

新年、明けましておめでとうございます。

会員の皆様には何かと平素より会の運営、発展にご協力をお願いしております。

また、昨年末には、会員各位、並びに関係諸官庁・諸団体のご支援によって、当会設立50周年記念のメイン事業である寺島実郎先生による講演会、記念式典・祝賀会を成功裡に終了することができました。あらためまして皆様のご支援・ご協力に深く感謝申し上げます。

さて、現在の経済情勢は、米国のサブプライム問題等に端を発した世界経済危機という大きな問題に直面しており、今後の見通しは全く予断を許さないものがございます。

また、地元福岡もこれまで好調だった博多港及び福岡空港の貿易額が昨年末には減少に転じております。

このような中で、福岡貿易会としましては、当会の原点であります“地域貿易の振興”という目標を再確認するとともに新たな海外ビジネス振興機関として、これまで以上の努力をしていかなければならないと考えております。

幸い、福岡市を中心に関係諸団体、在福外国公館の温かいご支援をいただいております、当会事業の充実、会員サービスの充実を図っております。また、会員数も順調に増え260社を上回り、質、量ともにこれまでにない水準に達して来たのではないかと自負致しております。

さらに、博多港の整備も一段と進むほか、新空港の問題にも方向性が出てくるなど、福岡を取り巻く海外ビジネスの環境は、より一層向上して参ると予想されます。

厳しい経済情勢が当分は続くと思われませんが、さらに会員の皆様方の役に立つ福岡貿易会となるよう、本年も、貿易セミナー、相談事業、講演会、海外視察などをより活発に行い、皆様のご期待に応えて行きたいと思っております。

最後になりますが、会員各位にとりまして、今年が良い年になることを祈念致しまして、年頭のご挨拶とさせていただきます。

CONTENTS

社団法人福岡貿易会 設立50周年 記念講演会、記念式典・祝賀会開催	1～3P
福岡貿易会設立50周年記念講演会 21世紀の世界潮流と日本 ～福岡・九州の可能性～	4P
50周年記念ゴルフ交流会 福貿倶楽部(小規模交流会)	5P
セミナー報告	6P
会員企業紹介	裏表紙
編集後記	裏表紙

社団法人福岡貿易会 設立50周年 記念講演会、記念式典・祝賀会開催

当会は、昭和33年に当会の前身である「福岡貿易振興会」設立以来、本年50年目の節目を迎えました。皆様方の力強いご支援ご協力のお陰で、微力ながら、当会の目的である福岡地区及び周辺経済圏の貿易を振興し、地域経済の発展に寄与して参っております。

去る12月10日(水)、ホテルニューオータニ博多にて設立50周年記念事業のメイン事業となる「記念講演会、式典・祝賀会」を、開催いたしました。年末のご多忙の中、記念講演会には、320名のご参加、式典・祝賀会には、在福外国公館、行政関係機関よりのご来賓や会員の皆様総勢230名にご参加いただき、盛会のうちに無事終了いたしました。皆様のご支援・ご協力誠にありがとうございました。



寺島実郎先生による講演会



記念式典

次 第

17:00～18:00 記念講演

講師：(財)日本総合研究所理事長、(株)三井物産戦略研究所所長 寺島 実郎 氏
演題：「21世紀の世界潮流と日本～福岡・九州の可能性～」

18:00～18:15 (休憩・会場移動)

18:15～20:30 記念式典

開会(司会)
主催者挨拶(並田会長)
来賓祝辞(福岡県知事)
来賓祝辞(福岡市長)
来賓紹介・(司会)

祝賀会

乾杯(渡邊副会長)
懇談(祝電披露)
閉会
博多祝い歌(角川副会長、津田副会長、土屋常任理事)
博多手一本(角川副会長、津田副会長、土屋常任理事)

[記念講演会]



講師
(寺島実郎先生)



[記念式典・祝賀会]



主催者挨拶
(並田会長)



来賓祝辞
(麻生 福岡県知事)



来賓祝辞
(吉田 福岡市長)



来賓紹介



乾杯
(渡邊副会長)



[祝賀会 懇談風景]



閉会

角川副会長
津田副会長
土屋常任理事

寺島実郎先生 ～ 講演メモ ～

外から日本を見た、また数字に裏打ちされたお話でありました。あつという間の1時間で、受講者より「時間を取ってもっと聞きたい」、「視野が広くて新しく考えるにはどうしたらいいか理解できた」、「これからの日本の進む方向性、企業の方向性に大いに参考になった」、「非常に良かった、元気がでた」等々大好評でした。一言一句をお伝えできないのが残念です。

〔講演内容骨子〕

1. 21世紀に入ってから7年間の世界潮流と構造転換について

- 1) 21世紀に入ってから7年間で世界株式市場時価総額は07年10月をピークに08年10月末までの一年間で46.7%下落、7年間で30兆ドル増えて、昨年10月からの1年間で29.4兆ドルが消えた。
 - ・実体経済年平均成長率=3.2%、・世界エネルギー消費量年平均伸び率=30%
 - ・世界貿易年平均伸び率=7.2%、・世界株式市場時価総額年平均伸び率=13.6%
 - ・実体経済を遙かに超えた株式市場の伸び、上海の時価総額は6倍に（実体経済を引っ張ったのは、IT、半導体、自動車産業）
- 2) 「米国住宅サブプライムローンの焦げ付き」を引き金にした世界金融危機、世界同時不況
 - ・金融肥大化とその破綻 過剰流動性 ホットマネーの奔流とそれがもたらしたもの
 - ・日本の失われた10年、15年を思い起こさせる「又きた道」で当惑しきっている日本
- 3) 世界の激震地はアメリカ 「事の始まりはイラク」「イラク戦争での急速な疲弊」
 - ・イラク戦争での米軍兵士の死者4201人（08年11月22日現在）アーリントン墓地に累々と連なる若者の墓碑
 - ・イラク、アフガンでの累積戦費 7119億ドル（ベトナム戦費5700億ドル 現在価格換算）
 - ・「3兆ドルの戦争」この戦争が終結するまでには3兆ドルかかるとの学者の推計
 - ・双子の赤字 = 経常収支赤字（07年5645億ドル）。財政赤字（07年1628億ドル） 09年度は1兆ドルを超す双子の赤字。
 - ・アメリカに決定的な疲弊感 = イラク・3兆ドル+サブプライム・8兆ドル=11兆ドル=日本のGDPの2年分

2. 2008年、世界史的パラダイム転換「冷戦後」という時代の終わりについて

- 1) 「IT革命」×「グローバル化」=冷戦後の世界潮流という認識の限界
 - ・IT情報革命はつまるところ米国ペンタゴンによって開発された軍事情報革命
 - ・ベルリンの壁崩壊、ソ連崩壊、1990年代冷戦が終了、軍民転換され15年間で世界が変わった。
 - ・冷戦時の中央制御方式から解放系、分散系への柔軟なシステムに、情報ネットワーク、インターネット革命で世界は飛躍的に変わった。
- 2) イラクとサブプライムで疲弊した米国 「力の論理」の破綻と「新自由主義」の敗北・イラクとサブプライムでのたうちまわっているアメリカ
 - ・新自由主義の総本山であった米国が社会主義的市場経済に突入
 - ・「米国の一極支配」、「唯一の超大国米国」、「世界帝国としての米国」から世界は「多極化」を通り越した「無極化」（全員参加型秩序）へ移行
 - ・アメリカ流資本主義 株価最大にして株式価値を最大化、株主還元
 - ・欧州流資本主義 社会主義に悩み抜いてきた欧州は株主だけを大事にすることだけでなく、社会に従業員に還元する資本主義
 - ・日本は米国流資本主義をここ10年間追ってきた・イラク戦争でアメリカに併走してきた日本
 - ・08年大統領選挙：オバマ当選の意味

3. 世界経済について 日本の経済と世界

- 1) 貿易構造の変化 「20%を割った米国との貿易」、「アジア・大中華圏への比重移動」
 - ・日本の貿易相手国比重 07年 米国16.1%、中国17.7%、大中華圏27.8%、アジア45.8% 単体で中国貿易額アメリカを抜く
 - ・欧州出張が一番聞かれることは日本のことではなく中国の事ばかり、欧米は中国本土だけではなく大中華圏をみている
 - ・胡錦濤 北京オリンピックの成果「中華民族の歴史的成果」とスピーチ。世界6000万人の中華民族への琴線にふれるメッセージ
- 2) 貿易構造のアジアシフトに伴う物流の変化：福岡・北九州港の戦略的位置
 - ・07年世界港湾ランキング（1シンガポール、2上海、3香港、4深セン、5釜山、8高雄、10青島、・・・東京23、横浜27、神戸39位）
 - ・注目すべき釜山のハブ化（釜山トランシップの増大）
 - ・日本海側港湾への物流のシフト 95～05年の外貿コンテナ伸び率全国平均4.6%V日本海沿岸11港12.6%日本海物流の時代へ
 - ・アジアとの貿易構造の変化は国内物流に変化をもたらしている。（例）仙台港：以前の東京港から津軽海峡を越え釜山から世界へ
- 3) 日本を取り巻く人流の変化
 - ・07年 米国から81.6万人、中国から94.3万人（大中華圏291.2万人）、韓国から260万人、併せて550万人が来日
 - ・近隣諸国に対する日本円の円安化による来日者増

4. 上記観点から日本が目指すべき方向 = 「実体性への回帰を日本は目指すべき」

- 1) 産業と技術、自律性
 - ・過剰流動性をマネーゲームに向かわせるのではなく実体経済にむかわせることが必要
 - ・諸外国とりわけアジア、新興国は日本の蓄積してきている技術力に対して敬意あり
 - ・現在50数名の著名人で作る「日本創生委員会」で日本の産業を何処に向かわせるかを鋭意検討中
- 2) 日本創生へのシナリオ——鍵を握るのはエンジニアリング
 - ①「エネルギーと食料は海外から買う」という産業の骨格の変更
 - ・食料自給率を40%から10年以内に50%へ、長期的にはイギリス並みの70%へ
 - ・その為に産業で蓄積した生産システムを農業に入れ株式会社農業に取り組むことが必要
 - ②「国土の狭い資源小国」の固定観念からの脱却
 - ・世界6位の領海・排他的水域に眠る海洋資源開発の推進 20年後の日本を世界の資源国家にすることが必要
 - ③「自動車以降のプロダクト・サイクルの創出」の必要性 中国の自動車製造・販売の急増
 - ・自動車に次ぐプラットホーム型産業の中核としての宇宙航空産業への取組
 - ・アジア大移動時代を迎え撃つ「中型JET旅客機」の国産プロジェクト
 - ・ロボット技術の重要性 少子高齢化を迎え撃つ問題解決型ロボットの開発（介護ロボット、福祉ロボット等）

☆設立50周年記念「ゴルフ交流会」

報告

日時:平成20年10月29日(水) 場所:古賀ゴルフクラブ

日本オープン終了直後の難コースでしたが、絶好のゴルフ日和のなか、56名(14組)にご参加いただき、会員相互の親睦を深めることができました。

[当会ゴルフ交流会は、年2回(春、秋)に開催していますので、皆様の参加をお待ちしています]



☆福貿倶楽部 (小規模交流会)

報告

日時:平成20年11月18日(金)18:00~20:00 場所:御膳屋 菴離

交流懇談事業の一環として、小規模の交流会を開催しています。この交流会は、ゲストをお招きし、ゲストからの情報提供や参加者同士の交流を図っていただき、情報交換や異業種交流など今後、会員様の何らかの役に立てていただく場として実施しているものです。会員の皆様の業種にとらわれずに気軽に参加していただき、当会ならではの交流会といたく「福貿倶楽部」と名付けています。

今回は、当会常任理事の「山本 誠二」氏をゲストにお迎えし、ゲストを囲んでの意見交換・情報交換を行いました。



『貿易実務講座（実践編）』 ※ジェトロ福岡との共催

- <日 時> 平成20年11月6日(木)・7日(金) 2日間 10:00~17:00
 <ところ> 福岡商工会議所 2F 第2研修室
 <テーマ> 貿易実務経験者を対象としたブラッシュアップ講座
 貿易取引の流れ・信用状・貨物海上保険・クレーム・関税制度・送金取引のロールプレイ型演習等
 <講師> ㈱アースリンク代表取締役 曾我 しのぶ 氏
 ジェトロ認定貿易アドバイザー

参加者のことばより

- * 全体的な流れを体系的に理解することが出来た。またロールプレイで再確認することが出来た。
- * 実践的でした。今までの研修の中で一番分かりやすく具体的でした。
- * 普段、自分のしている業務以外の部分がどのようになっているかがわかったので、大変興味深かったです。
- * 講義が非常にわかりやすく、内容も実践に即したものであった。



<現在進行中のセミナー>

『ビジネス中国語講座Ⅱ』

- <日 時> 平成20年11月13日~平成21年2月19日
 毎週木曜日 19:00~20:30 全12回
 <ところ> 西日本ビル会議室
 <テーマ> 中国中央テレビの元アナウンサーやプロの司会者として活躍中の2名の中国人講師による
 ビジネス中国語会話講座
 ビジネスの場での会話フレーズを通してビジネス中国語のルール、ビジネスマナーを身につける。
 <講師> 北京・ニーハオ中国語センター 講師 中国語会話:蔣 晶 氏 中国ビジネスマナー:戦 麗華 氏

事務局より

- * 全て中国語での授業ですが、これぞ貿易会の求めるビジネスに役立つ中国語講座だと、中国語の分からない事務局でも感無量の思いで見つめております。中国でも話し方に関しては第一戦でご活躍の先生方だけあって綺麗な発音と、バラエティに富む内容に毎回受講生の皆様の目は輝いており、お仕事で中国語に携わっている方々には、実際に役に立つ言い回しが覚えられると大好評です。



<今後開催予定のセミナー>

『EPA活用セミナー』 ※ジェトロ福岡・福岡商工会議所と共催

- <日 時> 平成21年1月23日(金) 13:00~16:00
 <ところ> ホテルオークラ福岡 3階 オークルーム
 <テーマ> 日アセアン包括的経済連携協定と原産地規則の概要 by 経済産業省
 特定原産地証明書の発給手続きについて by 日本商工会議所
 <定 員> 60名
 <参加費> 無料


『アジア経済講演会』 ~大メコン経済圏とインドシナ半島物流事情~

※(株)九州経済調査協会、ジェトロ福岡、(独)日本貿易振興機構アジア経済研究所と共催

- <日 時> 平成21年1月26日(月) 14:00~17:00
 <ところ> (株)九州経済調査会 6階 大会議室
 <テーマ> 「経済回廊開発とラオス・カンボジアへの投資」(仮題)
 (独)日本貿易振興機構アジア経済研究所 主任研究員 石田 正美 氏
 「インドシナ物流と東西回廊」(仮題)
 山九株式会社 ロジスティックス・ソリューション営業部
 海外営業グループ マネージャー 福田 規保 氏
 <定 員> 100名
 <参加費> 無料

会員企業紹介

社団法人 福岡貿易会
2009年1月発行

◆会員名	キャプラン株式会社		 みつけよう、あたらしい自分。
◆代表者役職氏名	九州支店 九州営業部 部長 南 健司		
◆所在地	〒812-0011 福岡市博多区博多駅前 3-2-1 日本生命博多駅前ビル 13 階		
◆TEL	092-471-3810	◆FAX ◆E-MAIL	
◆主要業務	・人材派遣業（貿易事務・一般事務他） ・人材紹介業		
◆当社の特色と 会又は会員企業への 希望について	・キャプランは貿易事務・一般事務の人材派遣とお客様の正社員となる人材を紹介する人材会社です。 特に、人材派遣に関しては、『教育して育てた』人材を長期雇用し、派遣先企業様へ配属しております。 又、企業セミナーや有料貿易講座なども行っております。 キャプランは、『人を育て教育する』人材会社として九州で頑張って行きますので、宜しく願い申し上げます。		

◆会員名	社団法人 九州経済連合会		 九 経 連 
◆代表者役職氏名	会長 鎌田 迪貞		
◆所在地	福岡市中央区天神 1 丁目 10-24 天神セントラルプレイス 6F		
◆TEL	092-761-4261	◆FAX ◆URL	
◆主要業務	当地域が当面する産業経済に関する諸問題を調査研究して、当地域経済界の公正な意見をとりまとめ、関係方面に意見を具申するなどの方法により、問題の実際的解決を図っています。これにより当地域経済の総合的な振興、均衡ある発展を促し、ひいては、わが国経済の健全なる成長発展に寄与することとしています。		
◆当社の特色と 会又は会員企業への 希望について	九州・山口地域に事業所を有する法人企業など約 800 社を会員とする地域の総合経済団体です。 1961年4月6日、当地域経済の浮揚と経済界一体化を目指して誕生。 2008年4月で創立 47 周年を迎え、「行動し、実践する九経連」として今日に至るまで積極的な活動を展開しています。		

編集後記

／事務局長 野 忠雄

あけましておめでとうございます。

皆様のご協力のおかげをもちまして、50周年記念事業メインイベントの記念講演・記念式典・祝賀会を盛会裡に終了いたしました。ありがとうございました。

年末の忙しい時期にもかかわらず沢山の皆様に参加頂きました。皆様からは、特に、寺島実郎氏を招いての講演会は、特に厳しい時節の柄、大変好評でした。お世話頂いた皆様に感謝です。

これからも皆様のために何ができるのかを念頭に、事

発行・編集/ 社団法人 福岡貿易会
デザイン・印刷/ (株) 西日本高速印刷

務局職員一同頑張りたいと思いますので、お気づきの点やご意見を聞かせて頂ければ幸いです。今年も皆様方のご活躍とご健康をお祈りしております。

職員一同

福岡貿易会事務所
〒812-8505 福岡市博多区博多駅前2丁目9番28号
福岡商工会議所ビル7F
TEL:(092)452-0707 FAX:(092)452-0700
E-MAIL:info@fukuoka-fta.or.jp
ホームページ <http://www.fukuoka-fta.or.jp/>



この印刷物は自然環境保護のために再生紙を使用しています。
また、大豆油インキを使用しております。